

## テクノロジー犯罪・嫌がらせ犯罪を撲滅するための要望書

2009年5月12日

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ・ジュニア 様

特定非営利活動法人

テクノロジー犯罪被害ネットワーク

理事長 石橋輝勝

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋二丁目9番6号

東西館ビル本館21号室

電話&FAX 03-5212-4611

### 要望趣旨

当「特定非営利活動法人テクノロジー犯罪被害ネットワーク」は1998年1月25日任意団体「電波悪用被害者の会」として発足し、その後一貫して、電磁波・超音波等目に見えない媒体を使ってピンポイントで特定個人の身体、精神に影響を与える「テクノロジー犯罪」と、特定少数・不特定多数による特定個人に対する「嫌がらせ犯罪」を解決すべく取り組んでまいりました。これまでに日本国内で500名を越える被害者を確認してその居住権から全国的広がりがあることが分かってまいりました。その内の300名に詳細なアンケートにお答え頂き、テクノロジー・嫌がらせ両犯罪に確信をもつことができました。当NPOは日本の被害者を対象としておりますが、同様の犯罪被害は貴国を含め全世界で報告されております。ちなみに貴国のある団体はテクノロジー犯罪を隠然たるハラスメント (covert harassment)、嫌がらせ犯罪を公然たるハラスメント (overt harassment) と表現しております。ハラスメントは「打って打って打ちまくる」ことですから、隠然たる方法と公然たる方法で被害者を打って打って打ちまくるということでもあります。このような攻撃に晒されている被害者は各国それぞれに問題解決に向けて努力しておりますが、未だ解決への糸口が掴めておりません。その端緒を開けるのはオバマ大統領以外ないと考えこの要望書を提出することにした次第です。以下、アンケート調査から明らかになった犯罪事実をお知らせ致しますとともに、要望事項を記すことに致します。オバマ大統領の本問題へのご理解と問題解決に向けての速やかなる対応を切にお願い申し上げます。

## テクノロジー犯罪・嫌がらせ犯罪事実

(1) テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で、特定個人を四六時中つきまとうことができるテクノロジーが使われています。

(2) テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で人間の生理機能・運動機能・五感・感情・三欲・思考に影響を及ぼすことができるテクノロジーが使われています。

(3) テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で声・音を聞かせるテクノロジーが使われています。

(4) テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で映像を見せるテクノロジーが使われています。

(5) テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で身体の各部位をピンポイントで攻撃できるテクノロジーが使われています。

(6) テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で、異物を標的に命中させることができるテクノロジーが使われています。

(7) テクノロジー犯罪が可能にしている個人攻撃は多様で、プログラム次第でいかようにもアレンジでき、しかも一日24時間、一年365日、日本中どこへ移動しようがその影響下に置くことができるようにシステム化・ネットワーク化されていると考えられます。

(8) テクノロジー犯罪には嫌がらせ犯罪が伴っています。

(9) 嫌がらせ犯罪は、詳細な打ち合わせがなければ行なえないことから、それを計画し、実行する組織が被害者の周辺に存在しなければできない犯罪です。

(10) 嫌がらせ犯罪は他地域に移動しても行われることから、上記組織が各地に存在し(各自治体単位)、組織間の連絡網が完備していると考えられます。

(11) 嫌がらせ犯罪は、被害者を絶えず監視していなければ行なえないことから、最先端の監視テクノロジー(盗聴・盗撮テクノロジー)が使われていると考えられます。

(12) 嫌がらせ犯罪と同時にテクノロジー犯罪を仕掛けてダメージを倍化させる手法が採られていることから、両犯罪を計画して実行する組織は同一か密接な関係があることが考えられます。

(13) テクノロジー犯罪、嫌がらせ犯罪の対象者は老若男女を問いません。子供の頃からの被害者も多く存在します。

(14) テクノロジー犯罪、嫌がらせ犯罪は40年を越える歴史があると考えられます。

(15) テクノロジー犯罪、嫌がらせ犯罪、どちらも突然畳み掛けられた場合、

パニックに陥っておかしくない攻撃であります。パニックに陥ることがむしろ人間の自然であります。そのような被害者の受け入れ場所として精神病院が位置づけられ定着しようとしています。これは正しい対処の仕方ではありません。この精神病院への位置づけにも作為が働いていることが考えられます。

(16) 両犯罪により多くの被害者が職を失うだけでなく、6名は命まで失っております(内訳、自殺者3名、殺された方1名、心不全1名、理由不明1名)。これは完全な個人破壊であります。

(17) 被害者のほとんどは家族の無理解に苦しんでおり、そのことから家族崩壊の状態に陥ります。少数ですが、家族全員が被害者である場合もあります。これは完全な家族破壊であります。

(18) 犯罪主体を近隣住民と考えている被害者が多く、これは近隣トラブルに、場合によっては犯罪に発展する恐れがあります。これを各所で、また全国的に実施すれば社会破壊・国家破壊も可能と考えます。

以上がアンケート調査の結果から明らかになった犯罪事実であります。両犯罪の歴史が40年に及ぶことから、相当使われて今日の社会があると考えられます。そのためこの問題は現実社会を知る上で極めて重要であります。しかし見えないために一般には全く分からないまま用いられて社会構築が為されてきたと考えられます。よって両犯罪をこのままにしてその上塗りの社会を構築すると、両犯罪が原因しているものを正しく捉えて、それを解決する方向で社会を構築していくのでは大きな違いが生じてまいります。後者を行なうにはテクノロジー犯罪を見抜く必要があります。しかしそれは経験しないと分からないものがありますし、経験してもそれはほんの一部のようで、実際は壮大なレベルで使われている可能性があります。とにかくその現実を知る端緒となりますのが当NPOの実施したアンケート調査結果であります。私自身40年にわたる被害者と自認しておりますことから、このアンケート調査結果は自信をもって公表できるものであります。しかし、この問題を知れば知るほど、その解決には高度な政治判断と世界を説得して各国同意の上で対処していく強力なリーダーシップが必要と考えられるようになりました。それができるのはアメリカ大統領の立場にあるオバマ大統領以外にないと考え以下要望する次第です。

**要望事項1. 人権・自由・平等・民主主義を危険に陥れ、国民の絶対管理につながる「つきまといテクノロジー」が稼働していることをご理解の上、人工衛星による一般市民の監視を禁止する条約を締結する等、その危険から被害者だけでなく貴国民および世界の人々を守る対策を早急に実施して下さい。**

犯罪事実（１）にありますように、被害者を絶えずつきまとうテクノロジーが稼動しており、それは４０年の歴史があると考えられます。そのターゲットにされている被害者は、特別に罪を犯したわけでもない一般市民であり、老若男女を問わず、子供のころからの被害者もいることは、この犯罪を知る上で見逃してはならない点であります。さらに被害者のほとんどがこのような犯罪に巻き込まれる理由が分からないと証言しておりますことも重要であります。無実の人間が、子供のころから、理由も分からずに、つきまといテクノロジーのターゲットにされている、しかも４０年も前からそれが行なわれていた事実をご理解頂きますようお願い申し上げます。またこのテクノロジーは全ての国民に適用できるものであること、それは国民の絶対管理につながる危険性があることも合わせてご理解頂きますようお願い申し上げます。

テクノロジーで絶えずつきまとうだけでも大変な人権侵害であり、自由を侵害するものでありますが、この技術を知る者そうでない者との隔絶した差を生じさせることから平等性を著しく侵害することも明らかであります。さらには、この技術を使えるのが国家でその対象が国民ということになりますと、国家が絶大な権力を握り、民主主義を否定することになりますことも十二分にご理解頂きますようお願い申し上げます。そしてそれを可能にするテクノロジーの一つが人工衛星の利用でありますことから、人工衛星による一般市民の監視を禁止する条約を締結する等、つきまといテクノロジーの危険から被害者だけでなく貴国民および世界の人々を守る対策を早急に実施して頂きますようお願い申し上げます。

**要望事項２．拷問等禁止条約に抵触するシステム化・ネットワーク化された拷問テクノロジーが社会の隅々に張り巡らされている現実をご理解の上、それを速やかに排除して悪用できないようにして下さい。**

犯罪事実（２）～（６）にありますように、テクノロジーによるつきまといと同時に様々なピンポイント攻撃が行なわれております。しかも犯罪事実（７）にありますように、この攻撃は一日２４時間一年３６５日続けられるのです。正に居ながらにして拷問状態に置かれているのと同じであります。これは拷問等禁止条約に反した犯罪行為であります。無実の一般市民が、子供のころから、理由も分からずに拷問にあっている事実とともに、それを可能にするテクノロジーがシステム化・ネットワーク化されて社会の隅々に張り巡らされている現実もご理解頂きまして、それを速やかに排除して悪用できないようにして頂きますようお願い申し上げます。

**要望事項３．人間コントロール・テクノロジーの存在をご理解の上、その悪用を**

早急に止めて下さい。

犯罪事実（２）にありますように、テクノロジー犯罪には、遠距離から、見えない方法で、人間の生理機能・運動機能・五感・感情・三欲・思考に影響を及ぼすテクノロジーが使われておりますが、それは単なる影響を越えてコントロールという表現が適切なレベルにあります。しかしテクノロジーの悪用を認識できない段階では全くそれを知覚することができないものであります。私自身40年にわたる被害者と自認しておりますが、1995年5月17日から始まった集中攻撃以前の四半世紀は全く認識できず、自分の問題として対処しておりましたことから、このテクノロジーの無知覚性を断言できます。知覚できないテクノロジーで人間の生理機能・運動機能・五感・感情・三欲・思考に影響を及ぼせるということは大変恐ろしい事実で、テクノロジーによる人間コントロールの時代に入っていることを証明するものであります。そしてそれが既に悪用されている事実をご理解頂きまして、その悪用を早急に止めて頂きますようお願い申し上げます。

**要望事項4. 人間コントロール・テクノロジーへの依存は廃人を作り出すことと同じであり、麻薬以上の依存症を生み出して、抜けるに抜けられない呪縛社会を作り出してしまうことから、速やかに情報公開してその危険を喚起して下さい。**

人間コントロール・テクノロジーの被害者の一人として、このテクノロジーが結果することを体験しましたのでここに記すことに致します。それは映像送信と衝動をかき立てるマインド・コントロールに促されて行動していたときのことです。促されたといっても意識ははっきりしており、自分の意識で行動していたことは確かであります。ただその時はまだテクノロジー被害を認識しておりませんでした。送られてくる映像と衝動を掻き立てるテクノロジーに促されて車で旅をすることになったのですが、東北地方を走行中映像が全く途切れたときがあります。それと同時に恐怖心が増してさらに車を走らせることができなくなった経験であります。人間コントロール・テクノロジーを放置しておきますと、それを多用する社会になることは間違いないと思いますが、そのテクノロジーがなんらかの原因で途切れたとき、全く何もできない廃人になる可能性をこの経験から知ったのであります。子供のころからそれが当たり前という生活に浸ってしまいますと、その中断は本当の廃人でありましょう。この経験から将来が大方見えてくると思います。莫大なお金と優秀な頭脳を動員して開発した結果が廃人の群れであります。このテクノロジーは麻薬と同じで、依存すればするほどそれから抜けられなくなることも間違いないと思われまます。それが見えたら一刻も早く人間コントロール・テクノロジーの存在を情報公開してその危険を喚起することで

あります。そして莫大な予算と優秀な頭脳を真に将来を託せる開発に振り向けることでもあります。その舵取りを任されたのがオバマ大統領でありますこと重々ご認識頂きますようお願い申し上げます。

**要望事項5. テクノロジーで引き起こされる現象を統合失調症として病人扱いする精神医学の見解を是正するよう促して下さい。**

犯罪事実(3)(4)にありますように、声・音・映像送信は典型的なテクノロジー被害であります。ところが、声・音被害を幻聴と捉え、映像被害は幻覚と捉えて、統合失調症と診断して病人扱いするようにしているのが精神医学であります。また犯罪事実(15)にありますように、テクノロジー犯罪・嫌がらせ犯罪どちらも突然畳み掛けられた場合パニックに陥ります。それが人間の自然と思われませんが、その状態を見ただけで精神病院に回されてしまうこともあるのです。統合失調症は精神医学では世界的に認められているものですが、被害者の立場からすると、テクノロジーで引き起こされた現象を病気として定義付けているように思えてなりません。医学上権威ある見解を覆すにはテクノロジーの現実が公にされることが第一であります。人為を自然として医学上権威付けることは後世に大きな負の遺産となりますので、早急に人間コントロール・テクノロジーの存在を公にして、精神医学の見解を是正するよう促して頂きますようお願い申し上げます。

**要望事項6. 守秘義務とされている軍事テクノロジーのなかでテクノロジー犯罪に利用できる技術を情報公開して下さい。**

最先端のテクノロジーは人間をコントロールできる段階にあるにもかかわらずそれが一般に知らされていないのは大問題であります。国防上、情報流出が国民の不利益となることから守秘義務とされている軍事テクノロジーがあることは理解できます。しかし無実の子供にまで悪用されているテクノロジーを守秘義務として守る価値はないのであります。守秘義務を守れば守るほど国民を殺すこととなります。守秘義務とされている軍事テクノロジーでテクノロジー犯罪に利用できる技術については積極的に公開して頂きますようお願い申し上げます。

**要望事項7. 「テロとの戦いの時代」のテンションを高めると国民絶対管理に正当性を与えることから、そのテンションを下げる政治を断行して下さい。**

テクノロジー犯罪を公にできない大きな理由にテロ対策があると思われれます。

9 1 1 アメリカ同時多発テロ以来テロ対策で世界が一致しておりますが、そのテロ対策を徹底しますと、国民の絶対管理となり、前述した「つきまといテクノロジー」の利用に正当性を与えることとなります。被害者からみますと、遠の昔に国民総つきまといテクノロジーが稼動していて、その理由付けにテロ対策がでっち上げられたのではないかと思えるほどであります。その真偽はともかくとして、テロ対策を強固にすればするほど国民を縛ることになることは明らかであります。そのことから本問題を解決するには9 1 1テロ以来高まっているテロ対策のテンションを下げる必要があります。その意味で高度な政治判断と世界を説得する力と強力な指導力がなければできないことでもあります。20世紀前半は戦争で明け暮れ、後半は「冷戦の時代」としたために米ソの代理戦争でアジア・アフリカの多くの国が悲惨な状態に陥りました。21世紀を「テロとの戦いの時代」としてしまいますと、今度は先進国の国民も含めて世界の人々をテクノロジーによる絶対管理の悲惨な状態に追い込むこととなります。これはだれも望むところではありません。オバマ大統領には前ブッシュ政権が始めた「テロとの戦いの時代」を大きく変える政治を断行して頂きますよう切にお願い申し上げます。それが本問題の解決にもつながるはずであります。

#### **要望事項 8. シビリアンコントロールに徹した指導力を発揮して世界を導いて下さい。**

テクノロジー犯罪に使われている技術の元は軍事テクノロジーにあると考えます。その軍事テクノロジーは民生用の30年先は行っていると思われれます。最先端のテクノロジーが軍事テクノロジーであるという事実、そこに最高の頭脳が集まっているという事実、軍事で不必要になったものが民生用として一般の使用が許されるという事実は人類にとって不幸なことであります。絶対に勝つことは軍を任された者の使命ですが、その軍部の意思に押し切られないように働くのが政治家であります。しかし前ブッシュ大統領は、9 1 1テロ以来、21世紀を再度戦争の世紀とするかのような印象を与える政治をしてしまいました。しかもそのような非常時にもかかわらず、休日が多かったようで、テキサスの牧場で馬に乗って楽しんでいる様子が紹介されていきました。それらのことからシビリアンコントロールのことなど全く脳裏になかったのではないかと思えてきます。政治家は絶対に勝つ使命で貫かれた軍部とは一線を画した存在でなければなりません。そう在ることがシビリアンコントロールの基本と考えます。一時『大国の興亡』や『文明の衝突』という書物がもてはやされましたが、貴国民も世界の人々もそのどちらも望んでいないと思われれます。歴史にかつてあったから同じことが起こるだろうと備えるのではなく、歴史にあったとしても同じようにならないように

努力するのが歴史に学ぶということでもあります。一軍事官僚の立場としては、歴史に学んで、考えられる危険に備える程度の仕事しかできませんが、政治家は外交・内政など多くの危険を回避する方法を手中にしております。そのような大きな意味でのシビリアンコントロールを感じる発言と実行をオバマ大統領は要求されているのです。それができるように側近を固めることでもあります。元ケネディ大統領は「あなたの国家があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたがあなたの国家のために何ができるかを問おうではないか」と就任演説で呼び掛け国民の可能性を引き出しましたが、オバマ大統領には、大統領ご自身がどのように発言してどのように行動するかが問われているのです。それには大きな意味でのシビリアンコントロールを感じられる発言と実行に終始することでもあります。それによって貴国民だけでなく世界の人々が可能性を見出せるようになるのです。貴国民がオバマ大統領を選んだ理性に答えるべきであります。大きな政治が必要とされる時代であります。

**要望事項 9. 他は絶対に生かさない、生かしたら自分が滅びるといふ、人格欠如でヒステリックな心理状態が基底にあるような政治・経済情勢を解くことに徹して下さい。**

ハラスメント（打って打って打ちまくる）と表現される攻撃を生み出す心理は相当ヒステリックで、他を受け入れる要素が全く見られず、非常に危険であります。このような心理と軍事官僚の絶対に勝つという意思が合体して支配的になりますと、民族も国家も滅亡の危機に陥れる危険があります。しかし今の政治経済情勢はこの心理状態を知らなければ理解できないものになっていることは問題であります。絶対に勝つという意思の下に、その障壁となるものは徹底的に排除しなければならない。その手段がグローバル化、自由化、規制緩和で、使う道具は軍事で必要とされたコンピューター、それを使って徹底的な効率化が計られております。このようにこれまでにない利己主義が大手をふるってまかりとおる時代となっており、利己主義の戦士とならなければ自分も生きていけない時代となっているのです。これを許した根底には、他は絶対に生かさない、生かしたら自分が滅びるといふ、全くの人格欠如の心理状態があるのではと疑わざるを得ません。オバマ大統領にはこの心理状態と徹底的に戦って頂きたいのです。打って打って打ちまくって絶対に勝つというヒステリックな意思と一線を画する態度が経済面でも求められているのです。これは経済面でのシビリアンコントロールと言えまじょうか。そしてこの心理状態を解き放って二度と蔓延させないことが経済の再生につながると考えます。それは貴国民だけでなく世界の人々を救うこと確信致します。



**要望事項 10. 国民の意識管理にまで行き着かざるを得ない情報化時代を終わらせるため、情報化時代を全面否定したブッダの起点に戻り、これまでの学問研究にとらわれない、次の時代を考える、最高レベルの頭脳集団を組織して下さい。**

心理と言えば、心理学を創設したサルトルは、心理学を生み出したのはユダヤ人でそれが正しいことなのかと率直な疑問を投げかけておりました。サルトルの心配も顧みずその後は脱兎の如く研究が進められ、脳研究、インプラント技術、無線送受信技術、デジタル化、コンピューターテクノロジーも加わって、今や人間の心理を左右する時代となっております。テクノロジーで人間の心理を揺り動かせる時代となって不確実性は完璧なものとなりました。この不確実性が情報化時代の裏返しなのかもしれません。しかしそのような時代にはその不確実性を見抜いていた人物の起点に戻ることが必要であります。私ども日本人は宗教性を意識しない生活をしておりますが、ほとんどの家はお寺の檀家となっております。お寺は仏教ですが、その創始者はブッダで、ブッダの結跏趺坐する姿は今日の情報化時代を全面否定する姿と考えることができます。ブッダの求めた真理とは、その姿そのものであり、それ以外は無駄な情報と捉えることができるのです。その無駄な情報で生きているのが世俗の人間で、その極みが今日の情報化社会であります。なぜそこまでの話をするのかと言いますと、今日の情報化社会の延長では生きていけないと思われるからであります。全ての人間の意識まで管理するという大変ヒステリックな考え方で支配されると、見えないテクノロジーでがんじがらめに縛られ、それから抜けるに抜けられなくなることは明らかであります。しかしそれが情報化時代の必然ならば終わらせる以外にありません。オバマ大統領には、これまでの学問研究にとらわれない、情報化時代の次を考える、最高レベルの頭脳集団を組織して頂きますようお願い申し上げます。30年先を行っている軍事テクノロジーで30年後に生きることは不可能であります。

**要望事項 11. 非常識に徹した嫌がらせによるパニック症状の誘発とその受け入れ先としての精神病院の位置づけ、それを嫌った場合の自殺・犯罪への追い込みという構図が明瞭に読み取れる「嫌がらせ犯罪」の元を断って蔓延化・常態化しないようにして下さい。**

心理戦争を意識させる攻撃は嫌がらせ犯罪にも取り入れられております。これまでの調査からその特徴として、①集団性、②ストーカー性、③反復・継続性、④タイミング性、⑤監視性、⑥システム性、⑦組織性、⑧マニュアル性、⑨ネットワーク性、⑩歴史性、⑪非常識性があることが分かってまいりました。そして

最後の非常識性で全体が貫かれていることも分かってまいりました。それは常識には一步も近づけないぞという猛烈な意思を読み取ることができるほどであります。常識の範疇でしたら警察も弁護士も行政も政治家も納得して動けるようになってしまいますので、常識から徹底して距離を置くことで問題の核心に迫らせない手法が採られているものと思われまます。その徹底した非常識な嫌がらせによって、誰も救ってくれる人がいなくなることによる孤立、徹底して畳みかけることによるパニック症状への追い込み、その受け皿として精神病院が位置づけられております。それを嫌う被害者は自殺を選ぶか、やむにやまれず罪を犯してしまうかであります。こうした構図が明瞭に読み取ることができるのであります。これだけ意思統一された犯罪は必ずその正体をつかめるはずであります。一刻も早く嫌がらせ犯罪の元を断ってその蔓延化・常態化を阻止して頂きますようお願い申し上げます。

## 要望事項 1 2. 情報化時代を反省するため仏教における宗教と科学の不合一性をご理解ください。

ブッダの存在は情報化時代を反省する原点になるという点で極めて重要であります。しかもブッダは架空の人物ではなく天寿を全うした実在の人物であったことがまた重要であります。そのブッダが結跏趺坐する姿がブッダにとっての真理そのものであったという点はものを考える起点となります。欧米では真理を求めて思索が続けられておりますが、結跏趺坐するその存在自体が真理であるブッダは、思索はしないのであります。思索で理想を追わず、結跏趺坐し、万物と一体となった姿を真理として、生きる見本となったのであります。ブッダの弟子たちは、思索に走る人間の性を「打って打って打ちまくって」ブッダに近づこうと修行をしたのであります。この思索をして真理を追おうとしないブッダの姿は完全な科学の否定であります。これもオバマ大統領はじめ欧米人には是非ともご理解頂きたい点であります。このことから仏教にとって宗教と科学は全く交わらないものであります。

(「打って打って打ちまくる」という表現ですが、仏道の場合は、どうしても思索を巡らしてしまう人間の性を戒めブッダに近づくための鞭であります。テクノロジー・嫌がらせ犯罪における「打って打って打ちまくる」ハラスメントは、とことん人を追い込んで殺すための鞭であります。この違いのご理解もお願い申し上げます。)

さて思索を巡らしてしまう脳について私の被害経験からさらに付け加えてお

きたいことがあります。犯罪事実（２）にありますように、テクノロジー被害の一つに思考への影響があります。その思考する脳を他人が使うことができるようでもあります。それは就寝中脳が静まっているときを狙って行なってきました。脳になんらかの情報をインプットした後、頭を回転させて、その結果を抜き取る方法であります。丁度スロットマシンにコインを入れてレバーを下げて回転させて結果が現れるようなものであります。あるいはテンペストの対象を人間の頭にしたという表現もできます。このような経験を数回しておりますことから、人間の脳は入ってくる情報に対してなんらかの判断をするために自然と動いてしまうものであることを実感として理解することができました。これが人間の脳の自然なのでありましようが、このことから、その自然を克服した仏陀の偉大さを改めて痛感した次第です。

**要望事項 13. 経済上の「見えざる手」とテクノロジー犯罪における「見えざる手」および嫌がらせ犯罪網の呪縛から国民を開放して 21 世紀を夢のある世紀へと導いて下さい。**

性善説と性悪説との論争は洋の東西を問わずあるようですが、仏陀の教えからしますと、自然と回転してしまう人間の脳の働きを性と捉えることから、性悪説になるものと思われまます。貴国で行なわれている自由化・規制緩和に徹した経済の動きをみておりますと性善説がはびこっているように思われまます。それまであった規制をことごとく取り払うだけでなく、権威の存在もお気に召さないようでそれも破壊していく、しかも人間心理にまで影響を及ぼして、完全な不確実性の時代を創造しております。確かのものを取り払った挙句に、アダム・スミスの「見えざる手」という考えを持ち込んで、自然とあるべき姿に落ち着くとでもいうのでしょうか。はたしてその「見えざる手」とはだれの手なのでしょうか。そのような経済活動の結果、未曾有の経済危機を招き、貴国では日本の国家予算規模の財政出動を発表しました。また各国にも呼び掛けているところであります。「見えざる手」に導かれて経済危機を招き、国民の血税が充当される、これでは「見えざる手」は血税の吸収装置であります。今回の経済危機を招来したのはこの「見えざる手」を育んだ貴国の体質にあるのですからまずそれを正すべきであります。しかも国民はテクノロジー犯罪という別の「見えざる手」でがんじがらめに縛られ、嫌がらせ犯罪網にも縛られているのです。先にも申しましたが、そのような状態で、元ケネディー大統領が言った、「あなたの国家があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたがあなたの国家のために何ができるかを問おうではないか」、とは口が裂けても言うてはならないのであります。オバマ大統領ご自身が国民になにをしてやれるかが先であります。それには経済上の「見えざる手」

やテクノロジー犯罪の「見えざる手」そして嫌がらせ犯罪網の呪縛を解いてやることであります。

また貴国の歴史を振り返ることでもあります。フロンティアとしてあった貴国で最もその恩恵にあずかってきたのは誰か。それは誰もが知っているユダヤ人です。それならばまずこの人たちに協力を仰ぐべきであります。危急の時でありますからなんらおかしなことではありません。少なくとも今回財政出動した全金額を無償で拠出してもらうことでもあります。そして一気にこの経済危機を乗り越えて下さい。

さらには貴国の恵まれた大地をよく見直して下さい。地球上比類ない恵まれた大地をもっていながら3億人ほどしか抱えていないのです。貴国は中国・インドに匹敵する人口を養うべきであります。その時どのような経済が必要になるか考えて頂きたいのです。それによってようやく人間並みの生き方が考えられるようになるのです。全く白紙の状態から地球でしか生きられない人間の理想の生活体系を構築して下さい。旧弊から抜け出て新しい国を築き上げてきた貴国民でありますから、今度はその意味でのフロンティアを提唱して頂きたいのです。そしてそのアイディアの提唱者にはアメリカ賞を創設して授与し、それがノーベル賞よりも権威あるものとして位置付けて下さい。そのようにして21世紀を貴国にとって新しいフロンティアの時代へと導いて頂きますようお願い申し上げます。

そしてその流れに沿ってもう一つ大きな仕事ができます。人口10億を抱える方向性を不動のものとすることによってイスラエルの人々を抱える道が開けてまいります。中東問題を解決する道が開けてくるのです。これは貴国以外には絶対できないことでもあります。その資金はユダヤ民族が蓄積したお金を使って自らの手で行なわせることです。これまで貯めた全てのお金を吐き出させて実行させるべきであります。このように21世紀を全世界の人々が夢を分かち合える時代にして頂きますよう方々お願い申し上げます。

**要望事項14. テクノロジーによる人間の意識への介入が結果した状態をさらに前進させるのではなく、その介入を断ってから次に行なうべきことを判断して下さい。**

今日ある社会は長期にわたるテクノロジー犯罪の産物であるとの認識は重要であります。人間の意識にまで介入できるテクノロジーが、40年もの間、全く知覚されずに続けられてきたのです。これによって数え切れないほどの人間改造が行われてきたことを想像しなければなりません。人の意識に入り込んでその人の意識になりすまして考えさせ、感じさせ、行動させる、そしてその継続でその人の意識そのものになっていく、そのような意識操作が行なわれてきたと考えま

す。この方法で恋愛感情も生じさせることができると考えますので、その対象を同性にすれば、性的倒錯の状態となります。オバマ大統領は就任前後に同性の結婚を認めるような発言をされたように記憶しておりますが、ご注意頂きますようお願い申し上げます。その前にテクノロジーによる個人への影響を止めることであります。それによって同性愛者の意識が変わる可能性があります。また訴え圧力も急減する可能性があります。行なうべきことの前後を誤らないよう方々お願い申し上げます。貴国の影響は世界に波及してまいりますのでご注意にご注意のほどお願い申し上げます。

最後に、テクノロジー犯罪の面から申しますと、それはこれまでの文明の歴史の結果としてあるとの捉え方ができます。それを反省する起点としてブッダを引き合いに出しましたが、ブッダは2300年以上前に現存した人物であります。つまり現代は有史以来の歴史を反省しなければ問題を正しく解決できない大転換点に立っているということでもあります。逆に言えばそれほど可能性を秘めた時代でもあるということでもあります。この可能性を人類全体で分かち合うべきであります。オバマ大統領にはそれを現実のものとして頂きますよう方々お願い申し上げます。オバマ大統領の人類全体への奉仕を期待致します。尚、本要望書に対しますオバマ大統領のご見解をお示し頂きましたら有り難くお願い申し上げます。

以上